

# 業界研究及び合同企業説明会の実施・予定

大月地域事務所及び甲府募集案内所（甲東地区・巨摩地区担当）は、昨年12月から2月上旬にかけて、県内各地において左記の日程で業界研究、セミナー等に参加しました。



アイメッセ山梨  
(令和2年12月23日(水))

今回の業界研究、セミナー等は、就職について考えている大学生を主な対象として実施され、自衛隊を含め様々な業種の企業が参加しました。企業・業界について知識を深めたり、就職を考える上で役立つ情報が得られるとあって、参加された方々は熱心に説明に聞き入っていました。広報官も、のべ100名を大きく上回る数多くの方々に一般幹部候補生、一般曹候補生及び航空学生等の任用制度について紹介するとともに自衛隊の業務や魅力について熱くPRしました。

各会場では、新型コロナウイルスの影響による厳しい就職状況から、「早く動き出さなければ危機感を持った」「説明を聞いて自衛隊も就職先として検討してみようと思った」といった声が聞かれました。

・YBS就職ガイダンス業界研究  
令和2年12月23日(水)

令和3年1月11日(月)

アイメッセ山梨

令和3年2月1日(月)

アピオ甲府

官公庁等合同セミナー

令和3年1月15日(木)

山梨大学

・マイナビ業界研究フェア

令和3年2月6日(土)

アピオ甲府

山梨地本は、今後も左記の予定で合同企業説明会等に参加を計画しています。時間未決定の分については、決定次第地本HP等ご案内します。

・YBS合同就職説明会

3月1日(月)

1100～1630

アイメッセ山梨

3月9日(火)～12日(金)

オンライン説明会(内1日)

3月25日(木)

甲府記念日ホテル

4月24日(土)

アイメッセ山梨

5月22日(土)

アピオ甲府

・マイナビ就職セミナー

合同会社説明会

3月3日(水)

アイメッセ山梨

自衛隊に興味のある方は、是非ご参加ください。現役自衛官が皆様からのご質問に懇切丁寧にお答えします。

## 自衛隊山梨地本便り

【発行】  
自衛隊山梨地方協力本部  
募集課広報班  
山梨県甲府市丸の内1-1-18  
甲府合同庁舎  
055-253-1591

山梨地本  
Twitter



Instagram



## 自衛官等採用試験受付中！



### 予備自衛官補

懸け橋になる誇り

- 受付期間：4/9(金)まで
- 試験日：4/17(土)～21(水)  
※いずれか1日を指定
- 受験資格  
一般公募：18歳以上34未満の方  
技能公募：18歳以上で保有する資格に応じ  
53～55未満の方

## 人事往来

山梨地本において昇任及び人事異動がありましたので紹介します

【昇任者】(令和3年1月1日付)

募集課 募集班

募集班長 3等空佐 東 新治

援護課 山梨地域援護センター

援護係長 1等陸曹 深澤 照彦

【転入者】(令和3年1月12日付)

募集課 企画班

企画係 3等海曹 寺倉 宏樹

横須賀基地業務隊から

## エアクション艇見学



艇内での説明

2月14日(日) 山梨地本は静岡地本と合同で、沼津海浜訓練場(静岡県沼津市)において海上自衛隊エアクション艇(通称LCAC(エルキャック))の見学を実施しました。山梨からは募集対象者をはじめとする9名の方が参加しました。

LCACは海上自衛隊でも6隻しかない珍しい艦艇で、海面に空気を吹き付けて浮上し、船尾にある大型の扇風機のようなプロペラを回して前後に進みます。また、90式戦車なら1両、人員であれば約30名を積載することが出来ます。参加者は訓練場に到着後、砂浜で待機しているLCACに乗り込み艇内を見学し、引き続き砂浜に乗り上げるビーチングの訓練を見学しました。ビーチングの様子はめったに見られないこともあり、参加者は皆、迫力ある姿に目を見張るとともに「入隊後はLCACで勤務してみたい」という声が聴かれました。



ビーチング訓練

今回の見学を通じて、参加された皆様に、海上自衛隊には多様な艦艇があり、活躍の場も幅広いことをご理解いただけたと思います。

## 高等工学校生徒採用試験を実施

山梨地本は、今年最初となる高等工学校生徒採用試験を実施しました。試験の際には、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意して試験を実施しました。

高等工学校は、将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成し教育する陸上自衛隊の学校で3学年終了時高等学校の卒業資格を取得することもできます。

1 高等工学校生徒 1次試験

1月23日(日)、甲府市の甲府合同庁舎において、第1次試験を実施しました。受験生達は真剣な表情で5科目の筆記試験を受けた。

試験及び作文試験に臨んでいました。試験開始前や休憩時間を利用して、受験生は試験の直前まで参考書の確認に努めるなど試験に対する意気込みが感じられました。

2 高等工学校生徒 2次試験

2月8日(土)には北富士駐屯地において、第2次試験を実施しました。口述試験(個別面接)及び身体検査が実施され、口述試験では受験生たちは寒さを吹き飛ばすような元気な声で、「災害派遣の際にはみんなを助けたい」「高等工学校で学んで、防衛大学校に進んで幹部自衛官になりたい」など、それぞれ高等工学校に対する思いをアピールしていました。



試験は、予備自衛官補、医科・歯科幹部、一般幹部候補生及び一般曹候補生が受付中です。自衛官採用等に関する質問等がありましたら、山梨地本にご連絡ください。

【お問い合わせ先】山梨地方協力本部：055-253-1591 大月地域事務所：0554-22-1298

甲府募集案内所：055-228-6427 同巨摩地域担当：055-283-5150

【HP】<https://www.mod.go.jp/pco/yamanashi/>





# 県内に勤める自衛隊OB（定年退官）の紹介

## 自衛隊山梨地本便り

【発行】  
自衛隊山梨地方協力本部  
募集課広報班  
山梨県甲府市丸の内1-1-18  
甲府合同庁舎  
055-253-1591



LINE@

自衛隊では、精強性を維持する必要性から若年定年制がとられているため大半が50歳代半ばで定年退職します。

自衛隊では、数多くの隊員が勤務で培った強い責任感、さらに職種毎に身に着けた高い技術を退職後も様々な分野で発揮し、社会に貢献しています。

今回は、平成26年9月に定年退官し、県内において、嘱託社員として勤務されている自衛隊OBの方をご紹介します。

株式会社ムトウ山梨

岡村 義仁



会社前にて(左から山口さん、望月さん、岡村さん)

私は、自衛官退職後、山梨県甲斐市にあり株式会社ムトウ山梨(医療用機器・介護用品販売等)に正社員として採用され、令和2年9月より嘱託職員と勤務しております。

私以外にも現在2名の退職自衛官が正社員としてこちらの会社でお世話になっております。

業務内容は、会社へ届いた医療消耗品の検品から倉庫への格納、並びに倉庫から必要な資材を県内の病院へ配送することです。

現在の勤務において感じること、は、自衛隊で培った実行力や責任



感及び指導力は、非常に役立っており、勤務先からも高い評価を受けているものと自負しております。

これから定年される後輩の方々の中には、業務が忙しく、定年後の自分の姿がイメージできていない方もいるかもしれませんが、そんな時は、自分の大切にしたいことを明確にするとイメージがしやすくなると思います。



取締役の大山様と  
(左から山口さん、岡村さん、大山様、望月さん)

特に、現在は自らが情報を収集し幅広い視野を持つことができる時代ですので、主体性と先行性をもつて再就職準備を行う事が重要です。

最後になりますが、コロナ禍の中、訓練及び、災害派遣等連日忙しい状況だと思いますが、どうか体に気を付けて任務にまい進して下さい。皆さんに負けないよう私も日々の業務を頑張っていきたいと思っております。

## 新春防衛講話で自衛隊の活動を説明

1月19日(火) NPO法人「防衛と安全に関する懇話会」(理事長 藤原進氏)の主催による新春防衛講話に本部長、援護課長及び募集課長が参加しました。

同法人は、平和と独立及び公共の安全と秩序の維持に関する諸問題を調査研究するとともに、それらの活動に協力、支援することを目的に平成19年(2007年)に設立されたもので、当日は、15名の方が出席しました。

本部長からは「我が国の防衛をめぐる状況について」という題目で、我が国を取り巻く環境や陸・海・空各自衛隊の活動等について講

話を行いました。引き続き、募集課長は、自衛隊の募集や広報活動の現状について、援護課長は、退職自衛官の就職援護等についてそれぞれ説明を行いました。参加者の方々は、「自衛隊の活動や自衛官の募集や援護などの状況を聞くことができたためになった」といった声をいただきました。

山梨地本は今後も様々な機会を通じて自衛隊に関する情報を発信して参ります。



## 感染拡大防止し予備自衛官5日間訓練実施される

山梨地本は1月29日(金)から2月2日(火)までの間、第1特科隊第3中隊(北富士駐屯地)が担任・実施した令和2年度第5回予備自衛官5日間訓練に、予備自衛官21名を招集しました。

訓練初日、出頭した予備自衛官は、訓練開始式に臨み、第1特科隊第3中隊長に対して訓練開始申告を実施しました。



個人用防護装備装着

コロナ禍の中私たちのために訓練を計画していただきありがとうございます。と感謝の言葉が送られました。

今回は、11都県において緊急事態宣言が発出される中での訓練となりましたが、訓練を担当した第1特科隊第3中隊のみならず、出頭した予備自衛官1人1人が新型コロナウイルス感染拡大防止に努めることに5日間訓練を終えることができました。

今回の訓練では、小火器の分解結合やFH70操砲、野外炊具の取り扱い、個人用防護装備の装着、個人携帯対戦車弾の取扱など内容も多岐にわたり、参加者は、真剣な面持ちで取り組んでいました。

訓練4日目には、本部長が訓練後に激励の言葉を述べ、訓練の労をねぎらうとともに、士気を鼓舞しました。



操砲訓練(FH70)

今回の訓練では、小火器の分解結合やFH70操砲、野外炊具の取り扱い、個人用防護装備の装着、個人携帯対戦車弾の取扱など内容も多岐にわたり、参加者は、真剣な面持ちで取り組んでいました。

訓練4日目には、本部長が訓練後に激励の言葉を述べ、訓練の労をねぎらうとともに、士気を鼓舞しました。



個人携帯対戦車弾操作訓練



令和2年度広報官教育

1月21日(木)、山梨地本は静岡地本と合同で、広報官教育を実施しました。

本教育は、広報官に必要とされる知識及び技能を向上させる目的で毎年実施しており、このコロナ禍の中においても、何とか広報官に他地本の現状を研修させたい、両地本相互のスキルアップを図りたいとの思いもあり、静岡地本との共催を調整し、今年度はツインメッセ静岡及び静岡募集案内所において実施することとなりました。

入念なコロナ対策が施される中、ツインメッセ静岡において部外講師による新卒者採用環境及びコミュニケーション技法等に関する講話を聴講したのち、静岡募集案内所へ移動し、「三密」を回避しながら、同募集案内所の活動状況を研修しました。

講話を聴いた広報官からは「講師の説明が具体的に分かりやすく、話し方の見本にしたい」等の声が多数ありました。また、静岡地本の広報官と積極的な意見交換により、「他地本の施策を知ることができ、非常に参考になった」と研修の成果を実感していました。

山梨地本は、今後とも広報官等の能力の更なる向上に努め、わかりやすい広報によって、自衛隊のことを身近に感じていただけるよう努めます。

【お問い合わせ先】山梨地方協力本部：055-253-1591 大月地域事務所：0554-22-1298

甲府募集案内所：055-228-6427 同巨摩地域担当：055-283-5150

【HP】<https://www.mod.go.jp/pco/yamanashi/>

